

新和中学校卒業式

3月10日、新和中学校で卒業式が行われ、男子13人、女子7人の計20人が、3年間の思い出が詰まった学び舎を後にしました。

来賓や保護者、在校生など多くの出席者の方々からあたたかい拍手で迎えられた卒業生は、しつかりとした足取りで入場。一人ひとり名前が呼ばれると、元氣よく返事をして、坂本信也校長から卒業証書を受け取りました。続いて、坂本校長が式辞の中で、

三浦雄一郎さんの話から、「やる気や向上心のスイッチを入れるタイミング」、「今の大切さ」について話されました。答辞では、卒業生代表の山口敦耶くんが、「この3年間は、この新和の中であって、みんながいて、当たり前のように過ごしてきた。この当たり前の日々が幸せだった。在校生の皆さんには、残された時間の一日一日を有意義に過ごしてほしい。」と在校生へのエールを送ると共に、3年間を一緒に過ごしてきた仲間たちに向けて、「たくさんの困難を乗り越えてこられたのは、みんなのおかげであり、みんなで過ごした何気ない日々が一番の思い出。これからも20人は大切な仲間だ。」と、仲間への変わらない友情を誓いました。



友と最後の合唱

卒業生は目に涙を浮かべながら「旅立ちの時」や「群青」を合唱し、会場全体が感動に包まれました。これからの様々な経験をし、大きく成長し続けてほしいと思います。



答辞を述べる山口敦耶くん

思い出を胸に新たな道へ

新和小学校卒業式

3月22日、新和小学校で卒業式が行われ、男子5人、女子6人の計11人が卒業しました。

来賓や地域の皆さん、在校生、保護者など多くの出席者が見守る中、子どもたちは堂々と入場。卒業証書授与では、体育館中に広がる大きな声で返事をし、胸を張って誇らしげに証書を受け取り、森下和代校長より一人一人の頑張りを紹介してもらったと、笑顔になったり涙顔になったりと様々な表情を見せてくれました。



感謝の気持ちを込めて

次に卒業生と在校生が、こ



ありがとう新和小学校

れまでの学校生活を振り返る『門出の言葉』では、これまでの小学校生活の回想や先生方、保護者、地域の方への感謝、在校生へ新和小学校を託す思いを伝えました。在校生が11人一人一人に感謝の思いを伝えると、大粒の涙を流し始める卒業生。1年間、新和小学校のリーダーとして頑張ってきたこと、つらい時でも笑顔で乗り越えてきたことなどを思い出したのでしよう。卒業生の涙を見て、もらい泣きする在校生が続出し、感動に包まれた卒業式となりました。4月から中学生となる子どもたちは、これから新和小学校で身につけた「い・の・ち」を心の糧とし、心優しくたくましく成長していつてほしいと思います。

郡市対抗熊日駅伝

2月10日、第45回郡市対抗熊日駅伝大会が開催されました。午前9時に天草市役所前を19チームの選手が一斉にスタートし、熊本市のびぶれす熊日会館前をゴールとした14区間106・9kmを駆け抜けました。

天草市代表として、4区に富田誠至郎（大多尾出身）選手が出場しました。

上位入賞を狙う天草市は、最長区間となる4区に富田選手を起用し、区間5位の見事な快走で期待に応えました。天草市は、昨年の順位11位を上回る9位でフィニッシュしました。

また、上天草市代表として、大田侑典（大多尾出身）選手が2区を、濱本貢（大多尾出身）選手が9区で出場され、上天草市は14位でゴールしました。



区間5位の走りで貢献!富田選手!

『地域の宝』の活用と交流による『心豊かなまち』の創造を目指して!! 第2期天草市新和地域まちづくり計画策定

昨年の6月21日、天草市長より諮問があった、「新和まちづくり計画」について、新和まちづくり審議会（会長谷山二亮）により、7月、10月、2月の3回に亘り、平成31年度から平成34年度までの4カ年計画について審議されました。平成18年3月に2市8町が合併して13年を迎え、進展する少子高齢化に対応するため、審議会ではこれまでの状況を検証し、課題に対して今一度地域を見直し、人と地域が輝く共助のまち新和をキャッチフレーズに計画が策定されました。

計画の基本理念として、次の4部門方針に基づき本地域のまちづくりを展開します。

①産業部門では、「ゆたかな生活を創造するまちづくり」②観光（景観）・文化部門では、「地域の特性を生かすまちづくり」③地域振興・教育部門では、「誰もが住み続けたいと思えるまちづくり」④福祉・生活環境・防災防犯部門では、「地域住民自らが守り続けるまちづくり」⑤地区振興会組織の見直しの方針を定め、2月15日に市長へ答申されました。

「まちづくりの主役は、地域に住む皆さんです。」「地域自ら考え

公民館地域講座を開催

新和地区公民館では、3月に町内3地区にて講座を開催しました。小宮地区では、「インターネットで変わる私たちの生活」として、講師に谷口淳一氏（株式会社モガ）をお招きし、インターネットやAIによる未来の生活環境の変化についての講話を実施しました。



審議会のようす

また、大宮地区では「わたしのノート書き方」として、講師に俣野智子氏（ワールドフレンズ天草）をお招きし、中田地区では「健康講座」歯つらつ健口（お口と全身の健康の深い関係）として、講師に森本由紀氏（市健康増進課）をお招きし、歯周病予防について学び、ストローと紙風船を使いながら、歯周病予防の方法について楽しく学ぶことができました。

新和社会体育協会が設立

2月23日、新和町民センターで「新和社会体育協会」の設立総会が行われました。これは、平成30年度で小学校運動部活動が終了し、社会体育に移行することに伴い新和地域で現在活動している5つの社会体育団体が参画し、発足したものです。

会長には竹本亨さん（礎石）が就き、会の設立の趣旨を述べた後、来賓の新和まちづくり協議会長あいさつ、会員である児童保護者による協議が

日本の宝島「天草」づくり研修会



地域おこし協力隊の北野さん

2月17日、新和町民センターで「日本の宝島天草」づくり研修会が開催されました。

これは、市民と行政によるまちづくりに対する意識の高揚を図ることを目的として、市内のまちづくり協議会委員や地区振興会役員など185名が参加。基調講演では、在宅とつながるクリニック天草院長の倉本剛史先生による「誰もがでできるまちづくり」地域資源の考え方」と題し、まちづくりは普段の仕事の中にある、「つながり」と「役割」を作ることが重要であると話されました。

なされました。会長の竹本さんは、体育指導を通じて児童に強い心を身に付けさせ、新和地区の発展に寄与できるような人材育成を目標にしています。ですので、地域の皆様も児童へのご指導、協会活動へのご協力をお願いしますと話していました。



設立総会のようす

また、「天草には強みがいっぱい」地域資源に気付こう」と題し、パネリストとして、天草酒造の平下豊さんをはじめとする地域リーダーの方々、北野達栄さん他の地域おこし協力隊の皆さんを交えたパネルディスカッションも行われました。

また、次世代リーダーの育成が重要な点など、パネリストの熱意が伝わってくるなど、今後のまちづくりに対するヒントを見出す有意義な研修となりました。



熱い想いを語る平下さん(左から2人目)